

FANTIC RACING

ファンティック・レーシング・ニュース
2025年3月25日



初戦での表彰台ふたつ。ファンティック・ファクトリーレーシング MXGP はモチベーション高くヨーロッパにおける連戦での MXGP に向けた準備を進めてきた。だがフランスの予想外の気候の変化や厳しいコースコンディションが思い通りのレースをさせてはくれなかった。それでもグレン=コルデンホフがムードを払しょくすべく最後のレースでは見事なホールショットを決め、最初の1周をトップでまとめてレースも4位に入賞、総合で6位に食い込む結果となった。

スペインでの歴史的な結果の後、グレン=コルデンホフは体調不良に見舞われ、解決できないままに第3戦・フランスに臨まねばならなかった。それでもなお、彼は土曜日の計時予選でいいパフォーマンスを見せるべく全力を尽くしたのだ。ところがトップタイムを狙ったアタックで激しいクラッシュに見舞われ、予選レースでは枠外

からのスタートを強いられることになってしまった。スタートは悪くはなかったものの中断に入り込むのがやっとの展開となった予選レース、ファンティック XXF450 とコルデンホフはチームメイト、ブライアン=ボガースとアンドレア=ボナコルシの後ろをうかがう展開に。“BB189”ことボガースがクラッシュして結局23位に終わることになったが、コルデンホフとボナコルシは13位と14位を分け合い、決勝を迎えることになった。

レース1の1周目、ファンティック・ファクトリーレーシング・トリオは、トリッキーなコンディションの下、時折降りしきる雨にも見舞われながらトップ10圏外で戦いを始めていた。ボナコルシは一気に順位を上げるチャンスもあったが、予想外のトラブルでリタイアを余儀なくされてしまった。一方、コルデンホフとボガースは激しく争いながらフィニッシュ、13-14位になり、日曜日のレースに向けて可能性を残したのである。

レース2のスタートは、「ザ・ホフ」にとって文字通り完ぺきだった。ホールショットを奪うと、ほぼ5周にわたってトップを守り、その後もレースの前半はトップ3に絡み続け、最終的には4位、総合でも6位の結果を得たのだ。ボナコルシは中団に埋もれながらも何とか14位に食い込み、一方ボガースはリタイアとなった。

グレン=コルデンホフ： 厳しい週末だったね。土曜日にクラッシュしたときは転び方を失敗して、頭から突っ込んでしまったよ。おかげでそのあとずっと調子悪くて、おまけに先週から風邪をひいてしまっていたおかげで日曜日の朝はだいぶダメな感じだったんだ。レース1ではブライアンを抜くのに手間取りすぎて、11位でフィニッシュするのがやっとなかった。いつも通り、スタートが大切なことはよくわかっていたし、特に土曜日のクラッシュもあって、とにかく前に出なければ勝負にならないと思っていた。だからレース2は集中していて、運よくホールショットを勝ち取れたんだ。素晴らしかったね！そのあとの4周、本当に全力でプッシュしたんだけど、そのあたりで到底このペースは維持できない、と気づいてしまったんだよ。だから4位でレースをまとめ、総合6位になれたのは状況を考えれば上出来さ。シーズンランキングもまだ5位だからね。土曜日のことを考えたらこれ以上はないとっていいだろう。結果オーライだし、この年最初のホールショットはいい自信になったよ。もっとよくしないとね。それこそがレースを楽にするんだから。



ブライアン=ボガース：ツキのない週末だった。予選レースでは最初の2週はよかったんだ。ほんと、今日は乗



れてるね！って感じだったよ、、ブロックに突っ込むまではね。日曜日のレース1、スタートは悪くなかったと思うんだけど後半結構厳しくって、結局最後は12位になるのがやっとなかった。レース2では外を攻めすぎてコースアウトしちゃったんだ。おまけに1周目にまたコースブロックをひっかけちゃって、今度はバイクに挟まってしまった。おかげで脱出に手間取りすぎて、もうレースに戻る意味すらなくなっちゃったんだ。まあこんなレースだったけど、次のレースに向けて集中していくよ。サンドのリオラに向けてね！

アンドレア=ボナコルシ：先週に比べると本当に厳しい週末だったね。土曜日はコースになかなかなじめなかった。でも、日曜日は朝からなんだかいい感じがしてはいたんだ。レース1ではいいスタートが切れたと思ったんだけど、不運なことに、ちょっとトラブルがあってリタイアすることになってしまった。レース2では今一つリズムがつかめなくてね、、なかなかいい感じで走ることができなかった。このコースはいつも苦手だったんだけど、でもこの先はイタリアラウンドが2戦続くからね、僕たちはポジティブさ。ホームラウンドでのルーストを楽しみにしているよ。



ファンティック・ファクトリーレーシング EMX

欧州選手権の第2戦、ファンティック・ファクトリーチームは再びその大いなる可能性を見せつけたが、目まぐるしく変わるレースコンディションに翻弄される形で結果には結びつかなかった。

EXMのレース1のスタート直前、豪雨に見舞われたコースは全く予想のできない路面へと姿を変えることになった。チームの新人、フランチェスコ=ベレイはXX125で見事なスタートを見せ、レースを通じてトップ5を快走、5位でフィニッシュラインをくぐった。チームメイトのドウエ=ファン・メクゲレンも手堅く10位内を走ったが、残り5周でのクラッシュで大きく順位を落として17位となった。

レース2も再びマディコンディションとなり、雨も軽くなつたが降り続いていた。レース1ほどのスタートは決められなかったものの、ベレイは表彰台に食い込めるポジションでのレースを展開。しかしコンディションの悪化でゴーグルを外す羽目になりスピードダウン、視界の悪化はスロウダウンを余儀なくさせ、7位でのフィニッシュとなった。総合8位はしかし、彼の実力を示すものとは到底言えないだろう。ファン・メクゲレンにとってもタフなレースであったことには変わらず、レースは20位、総合順位も20位になってしまった。ベレイのチャンピオンシップランキングは6位で、トップに20ポイント差となっている。

EMX250のルーキー、シモーネ=マンチーニは予選から勢いのある走りを披露した。フリー走行から予選グループまで順位は2位。総合3位で決勝を迎えたのだ。レース1でもその勢いは衰えず、XXF250は1周目をトップと競いながら通過。17歳のマンチーニはレースの前半を3位で走ったものの最終的には4位に落ちてのフィニッシュとなった。が、このコースコンディションでは上々の走りといっていだろう。

レース2では、マンチーニはスタートで出遅れてトップ10圏外となったがすぐに取り戻し、7位に、さらに5位グループに接近した。だが4周を残してリタイア。前半で他の選手との接触があったことがマシンの電装を傷つけていて、レース終了まで持たせられなかったのだ。不運としか言いようがないものの、イタリアの若者のスピードとチャレンジを損なうものではないことは間違いなく、総合8位の順位を保持している。



フランчесコ=ベレイ：レースはとにかく厳しいトラック・コンディションのおかげで難しかったね。今週末の結果には満足できないし、自分のライディングも上出来とは言えなかったよ。間違いなく、次のリオラに向けて相当仕事をしないとイケないことはわかっている。幸運なことにもそれでもポイントは獲得したし、総合でもまだトップから20ポイント差だからね。チャンスはあるよ。

シモーネ=マンチーニ：僕自身も、マシンもこのコースでも全く問題はなかったんだ。レース2でのDNF (did not finish : 途中棄権) は不運だったけど、スピードを中心にいいものを見せることはできたと思うんだ。レース1の結果には本当に満足しているしね。この先の連戦で僕らが求めていることを形にしていかななくちゃね。まあ今週は悪運の中でも8位になったわけだけど、それ以上を目指してね。

